

1. 件名：特定原子力施設監視・評価検討会（第89回）に係る面談（2回目）

2. 日時：令和3年3月17日（水）15時30分～17時20分

3. 場所：原子力規制庁18階会議室

4. 出席者

原子力規制委員会

伴委員、田中委員

原子力規制庁

櫻田原子力規制技監

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、林田管理官補佐、田上係長、久川係員

澁谷企画調査官（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力規制事務所

小林所長（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

小野CDO他プロジェクトマネジメント室5名（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力発電所12名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、次回（第89回）特定原子力施設監視・評価検討会（以下「検討会」という。）の議題に関し、資料に基づき以下の説明を受けた。

- 2月13日に発生した福島県沖地震に係る対応状況について
 - ✓ 3号機原子炉建屋における地震計の設置状況及び建屋健全性評価について
 - ✓ 2月13日の地震によるタンクへの影響について
 - ✓ 2月13日の地震による1・3号機PCV水位低下事象について
- 福島第一原子力発電所1号機及び2号機非常用ガス処理系配管の一部撤去について
- 建屋滞留水処理の進捗状況について
- 3号機燃料取り出しの完了について

○原子力規制委員会及び原子力規制庁は上記内容を確認するとともに、以下のとおりコメントを行った。

【2月13日に発生した地震に係る対応状況について】

- これまでの地震による影響について全体像が分かりにくいいため、まず地震によって施設や設備等に生じた影響について示した上で、特に留意すべき建屋健全性、PCVの水位低下及びタンクの滑動評価や今後の対策に係る検討状況について説明するように資料の全体的な構成を見直すこと。
- タンク以外にも使用済吸着塔一時保管エリアにおいて影響が確認されているこ

とから、安全確保設備や屋外に設置してある比較的リスクの高い設備への地震による影響や現在の状況について示すこと。

【3号機原子炉建屋における地震計の設置状況及び建屋健全性評価について】

- 1～3号機原子炉建屋の耐震評価について、数年前に実施した評価から状態変化の有無がないか確認するために行うとしている有人調査に関する過去の実績や具体的な調査内容について示すこと。
- 原子炉建屋の健全性を確認するための方法として、地震計の設置以外に考えられる方法について具体的な例を示すこと。
- 東日本大震災前や震災当時に取得した地震観測記録と、2020年4月に新たに設置した地震計によって取得した地震観測記録とを比較し、建屋の剛性変化などが定性的にでも説明可能であれば示すこと。

【2月13日の地震による1・3号機PCV水位低下事象について】

- 3月9日から3月11日にかけて発生した3号機原子炉建屋地下1階北東エリア（北東三角コーナー）における建屋滞留水水位の上昇事象について、現場の状況調査等の実績があれば示し、3号機PCV水位低下事象との関係性を説明すること。
- 1号機PCVに新たに設置する水位計によって得られた情報があれば示すこと。

【福島第一原子力発電所1号機及び2号機非常用ガス処理系配管の一部撤去について】

- 配管切断時に発生する切粉の飛散防止対策等、作業上の安全対策に係る検討状況を示すこと。
- 配管撤去作業に伴って発生する放射性廃棄物について、撤去後の配管の取扱いを含めて保管・管理する方法を具体的に示すこと。

【建屋滞留水処理等の進捗状況について】

- ゼオライト土嚢等の安定化処理について、現状の検討状況を示すこと。

○東京電力から、コメントについて検討の上、検討会に向けて対応が必要なものについては、適切に対応する旨回答があった。

6. 資料

- 3号機原子炉建屋の地震観測について（案）
- 2／13の地震に伴うタンクへの影響について（案）
- 1・3号機PCV水位低下に関わる対応について（案）
- 福島第一原子力発電所 地震前後のプラントパラメータの変動状況について（案）
- 福島第一原子力発電所 1号機及び2号機非常用ガス処理系配管の一部撤去について
- 建屋滞留水処理等の進捗状況について
- 3号機燃料取り出しの完了（案）
- 福島第一原子力発電所 中期的リスクの低減目標マップ（2020年3月版）を踏まえた

検討指示事項に対する工程表